

モジュラータイプで最も合理的な調質システムを実現。

コガネイマルチシリーズは豊富なシリーズ構成とバリエーションであらゆるエア駆動、エア制御などに最適なエアを供給します。しかも、おのこの機器を一体に組み付けられるモジュラータイプですから、コンパクトで取付け後のメンテナンスも容易です。

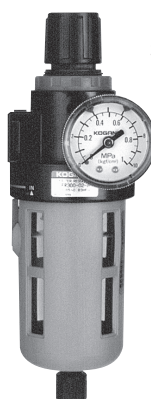
F.R.L.コンビネーション 1080



形式	配管接続口径	Rc
	1/8 1/4 3/8 1/2	
C150	01 02	
C200	02	
C300	02 03	
C400	02 03	
C600	02 03 04	

フィルタレギュレータ 1084

標準・低圧用・チェック機構内蔵



形式			配管接続口径	Rc
標準	低圧用	チェック機構内蔵	1/8 1/4 3/8 1/2	
FR150	FR151	FR152	01 02	
FR300	FR301	FR302	02 03	
FR600	FR601	FR602	02 03 04	

エアフィルタ 1088



形式	配管接続口径	Rc
	1/8 1/4 3/8 1/2	
F150	01 02	
F300	02 03	
F600	02 03 04	

ミストフィルタ 1090



形式	配管接続口径	Rc
	1/4 3/8 1/2	
MF300	02 03	
MF400	02 03 04	
MF600	02 03 04	

マイクロミストフィルタ 1092



形式	配管接続口径	Rc
	1/4 3/8 1/2	
MMF150	02 03	
MMF300	02 03 04	
MMF400	02 03 04	

オートドレン 1094



形式	ボディサイズ
AD300	300シリーズ用
AD600	600シリーズ用

レギュレータ 1095

標準・低圧用・チェック機構内蔵



形式			配管接続口径	Rc
標準	低圧用	チェック機構内蔵	1/8 1/4 3/8 1/2	
R150	R151	R152	01 02	
R300	R301	R302	02 03	
R600	R601	R602	02 03 04	

精密レギュレータ 1098



形式	配管接続口径	Rc
	1/4	
PR200	02	

ハイリリープレギュレータ 1100



形式		配管接続口径 Rc
		1/8 1/4 3/8 1/2
内部 パイロット	HR200	01 02
	HR600	03 04
外部 パイロット	HRA200	01 02
	HRA600	03 04

マニホールドレギュレータ 1104

標準・低圧用



形式		配管接続口径 Rc
標準	低圧用	1/4 3/8
MR302	MR303	02 03

ルブリケータ 1107

標準・マイクロルブリケータ



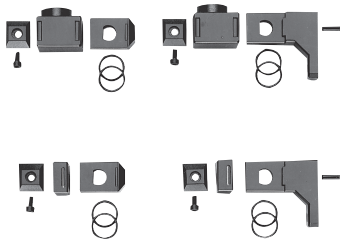
形式		配管接続口径 Rc
標準	マイクロルブリケータ	1/8 1/4 3/8 1/2
L150	—	01 02
L300	L301	02 03
L600	L601	02 03 04

残圧排気弁 1110



形式	配管接続口径 Rc
	1/8 1/4 3/8 1/2
300V	01 02 03
600V	04

モジュール・アダプタ 1112



ブラケット 1116



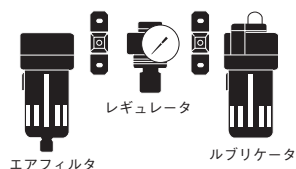
モジュラータイプのメリットを最大限に活かせる 充実したコンポーネント。

豊富なコンポーネントとその機能を最も効果的にシステムアップする各種のアクセサリーの充実により、モジュラータイプならではのマルチ対応を実現します。

モジュールによるシステムアップ

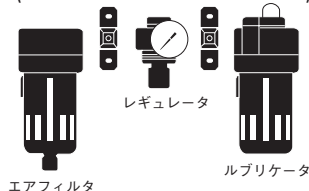
各種モジュールやSアダプタなどを使用してあらゆる用途、空気消費量に最適なシステムを構成できます。

F, R, L コンビネーション

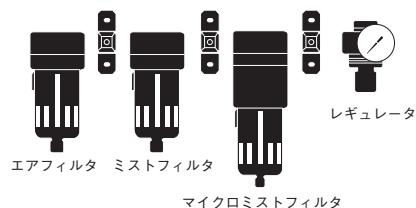


F, R, L コンビネーション

(エアフィルタ、ルブリケーターを大容量にしたイージーメンテナンス)



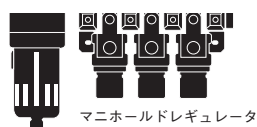
F, MF, MMF, R のクリーンエアコンビネーション



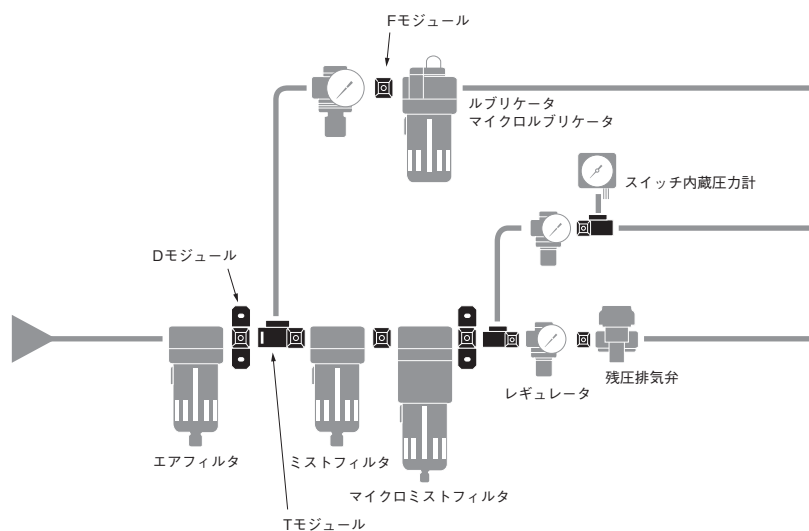
精密圧力制御



個別圧力制御



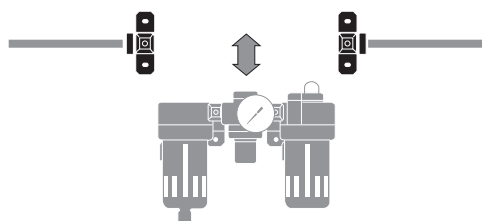
モジュール



S アダプタ

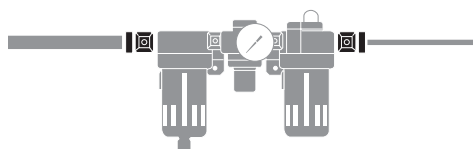
機器の脱着がワンタッチ

配管部分をそのままに機器の脱着ができます。



異なる配管サイズの口径合わせに

IN, OUT の配管口径が変えられます。



モジュールできる機器の一覧

ボディサイズ		150 シリーズ					300 シリーズ										600 シリーズ									
形式		FR150	F150	R150	L150	HR200	FR300	F300	MF300	MMF150	R300	PR200 注2	MR300 注1	L300	300V	FR600	F600	MF400	MF600	MMF300	MMF400	R600	L600	600V	HR600	
150 シリーズ	FR150	8-15F 8-15D 8-15T <input type="checkbox"/> 8-15DT <input type="checkbox"/> 8-15S <input type="checkbox"/> 8-15DS <input type="checkbox"/>					8-20D (ブラケット兼用 D モジュール)																			
	F150																									
	R150																									
	L150																									
	HR200																									
300 シリーズ	FR300	8-20D (ブラケット兼用 D モジュール)					8-30F (F モジュール) 8-30D (ブラケット兼用 D モジュール) 8-30T <input type="checkbox"/> (T モジュール) 8-30DT <input type="checkbox"/> (ブラケット兼用 T モジュール) 8-30S <input type="checkbox"/> (S アダプタ) 8-30DS <input type="checkbox"/> (ブラケット兼用 S アダプタ)										8-40D (ブラケット兼用 D モジュール)									
	F300																									
	MF300																									
	MMF150																									
	R300																									
	PR200 注2																									
	MR300 注1																									
	L300																									
	300V																									
600 シリーズ	FR600						8-40D (ブラケット兼用 D モジュール)										8-60F (F モジュール) 8-60D (ブラケット兼用 D モジュール) 8-60T <input type="checkbox"/> (T モジュール) 8-60DT <input type="checkbox"/> (ブラケット兼用 T モジュール) 8-60S <input type="checkbox"/> (S アダプタ) 8-60DS <input type="checkbox"/> (ブラケット兼用 S アダプタ)									
	F600																									
	MF400																									
	MF600																									
	MMF300																									
	MMF400																									
	R600																									
	L600																									
	600V																									
	HR600																									

■ 同じサイズの機器を組み付けるモジュールです。
■ 異なるサイズの機器を組み付けるモジュールです。
□ 直接の組付けはできません。

注1：マニホールドレギュレータMR300の配管方向は他の機器と異なります。
詳細は32ページをご覧ください。
2：精密レギュレータPR200と600シリーズとの組み付けはできません。

モジュール・アダプタの形式一覧

150, 300, 600 シリーズ用

モジュール・アダプタ ボディサイズ	F モジュール		D モジュール		T モジュール		S アダプタ	
	F (モジュール専用)		D (ブラケット専用)		T (分岐配管)	DT (ブラケット兼用分岐配管)	S (配管接続)	DS (ブラケット兼用配管接続)
15 (150 シリーズ用)	マルチシリーズ 8-15F	マルチシリーズ	マルチシリーズ 8-15D	マルチシリーズ	配管ポート 8-15T □	配管ポート 8-15DT □	配管ポート 8-15S □	配管ポート 8-15DS □
30 (300 シリーズ用)	8-30F		8-30D		8-30T □	8-30DT □	8-30S □	8-30DS □
60 (600 シリーズ用)	8-60F		8-60D		8-60T □	8-60DT □	8-60S □	8-60DS □

異なるサイズの接続用

モジュール ボディサイズ	D モジュール	
	D (ブラケット兼用)	
20 (150・300 シリーズ接続用)	300 シリーズ 150 シリーズ	8-20D
40 (300・600 シリーズ接続用)	600 シリーズ 300 シリーズ	8-40D

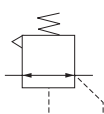
精密レギュレータ

PR200

- 高精度の圧力調節を小形サイズで実現したシングルダイヤフラム方式。
- プッシュロック式のレギュレータハンドルで、調圧は軽くスムーズ。



表示記号

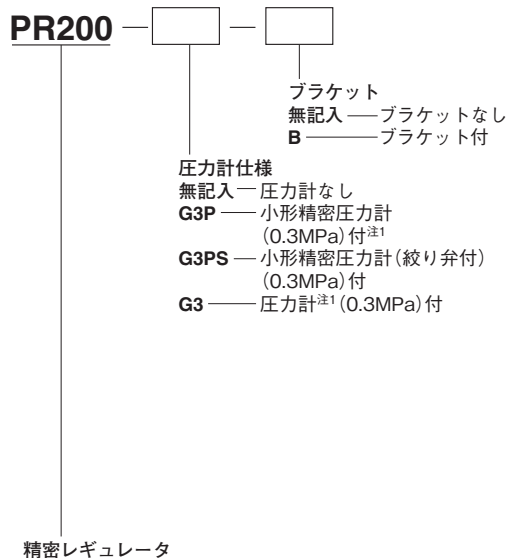


仕様

項目	形式	PR200
使用流体		空 気
配管接続口径	Rc	1/4
感度	MPa	0.001
圧力設定範囲	MPa	0.005~0.25
最高使用圧力	MPa	0.73
保証耐圧力	MPa	1.03
使用温度範囲 (雰囲気および使用流体)	℃	5~60
空気消費量 ^注	ℓ /min(ANR)	5
給油		不 要
質量	kg	0.29
主要部材質		アルミダイカスト

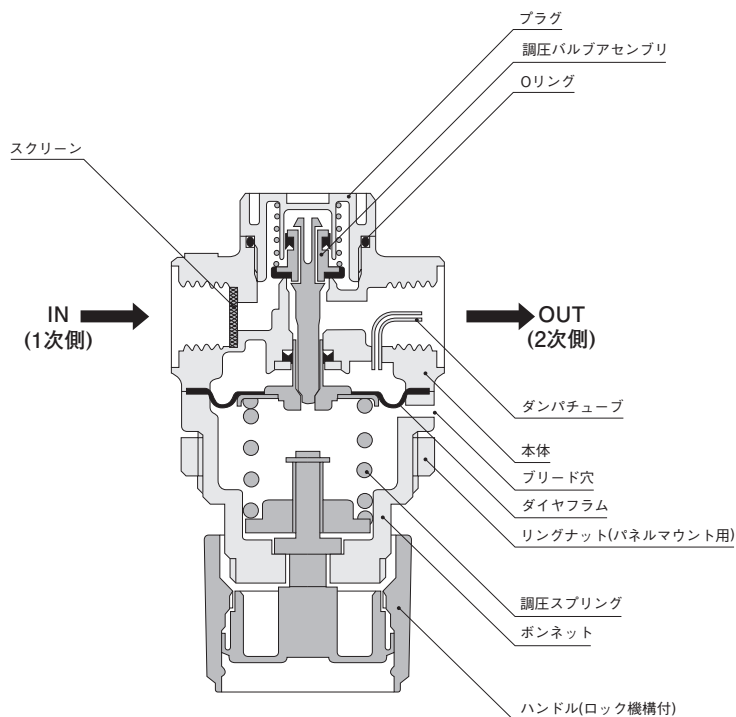
注：2次側空気圧力0.25MPa時の値です。

注文記号

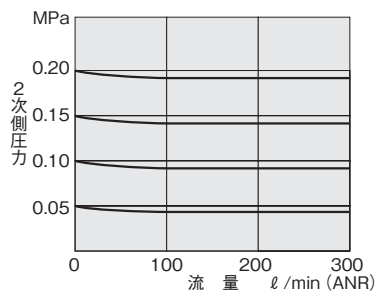


注1：小形精密圧力計G3P、圧力計G3の仕様、注文記号、寸法については、ホームページ・CD-ROMの圧力計の該当ページをご覧ください。

内部構造

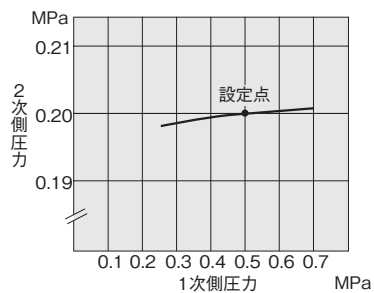


流量特性



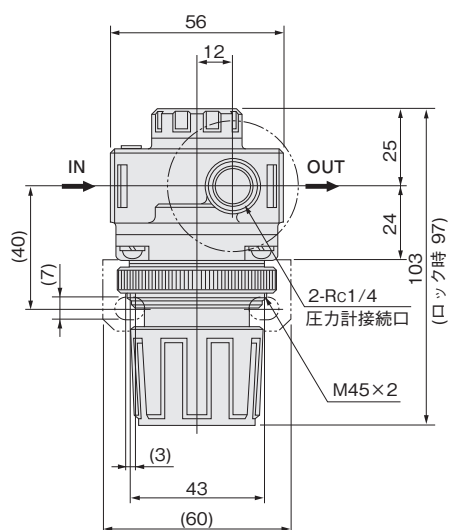
備考：グラフは1次側圧力が0.7MPa一定時での流量特性です。

圧力特性

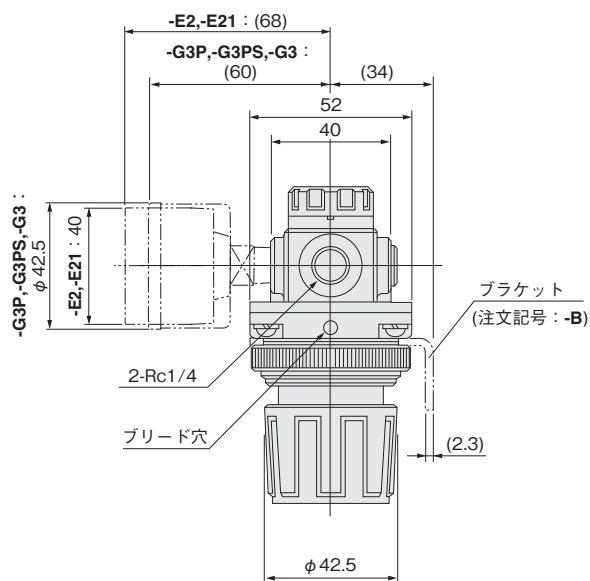


精密レギュレータ寸法図 (mm)

PR200



注：レギュレータをパネルなどに取り付ける場合の取付穴はφ46です。また取り付け可能な板厚は1.5~6mmです。取り付けには、付属のリングナットをご使用ください。



モジュール・アダプタ

- マルチシリーズの同じボディサイズの各機器を自由に組み合わせる連結器、F モジュール。
- 取付ブラケットの機能を持つ D モジュール。
- 任意の位置に分岐配管できる T モジュール。
- 配管をそのままに機器の脱着ができる S アダプタ。
- 標準で NCU 仕様として使用できます。





形式一覽

150, 300, 600 シリーズ用

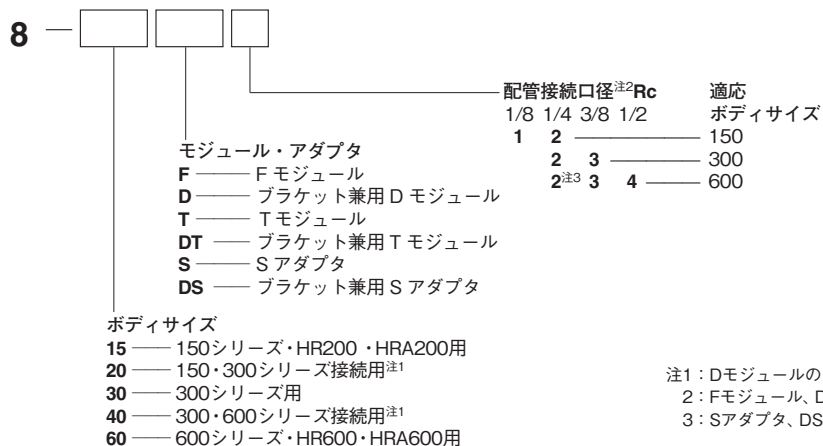
モジュール・アダプタ ボディサイズ	F モジュール	D モジュール	T モジュール		S アダプタ	
	F (モジュール専用)	D (ブラケット兼用)	T (分岐配管)	DT (ブラケット兼用分岐配管)	S (配管接続)	DS (ブラケット兼用配管接続)
15 (150シリーズ用)	マルチシリイズ ⇨ ⇩ ⇧ ⇦ マルチシリイズ 8-15F	マルチシリイズ ⇨ ⇩ ⇧ ⇦ マルチシリイズ 8-15D	配管ポート ⇨ ⇩ ⇧ ⇦ マルチシリイズ 8-15T □	配管ポート ⇨ ⇩ ⇧ ⇦ マルチシリイズ 8-15DT □	配管ポート ⇨ ⇩ ⇧ ⇦ マルチシリイズ 8-15S □	配管ポート ⇨ ⇩ ⇧ ⇦ マルチシリイズ 8-15DS □
30 (300シリーズ用)	 8-30F	 8-30D	□ 8-30T □	□ 8-30DT □	□ 8-30S □	□ 8-30DS □
60 (600シリーズ用)	 8-60F	 8-60D	□ 8-60T □	□ 8-60DT □	□ 8-60S □	□ 8-60DS □

備考：材質 亜鉛ダイカスト

異なるサイズの接続用

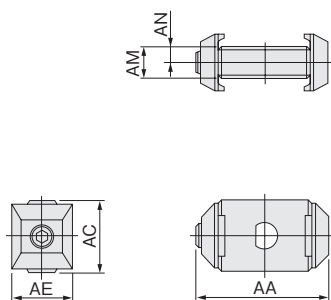
モジュール	D モジュール
ボディ サイズ	D (ブラケット兼用)
20 (150・300 シリーズ連結用)	300 シリーズ ⇨  ⇨ 150 シリーズ 8-20D
40 (300・600 シリーズ連結用)	600 シリーズ ⇨  ⇨ 300 シリーズ 8-40D

注文記号



適応機器の詳細については、1079ページをご覧ください。

F モジュール寸法図 (mm)

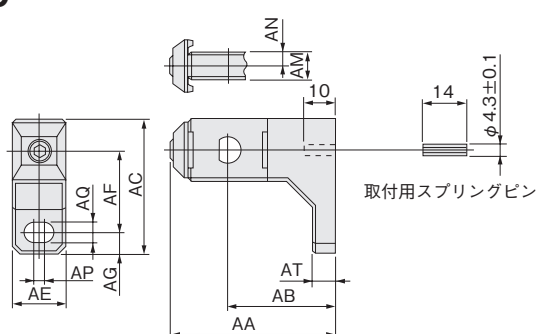


形式	記号	AA	AC	AE	AM	AN	質量 g
8-15F		36	20	17.4	8	4	38
8-30F		42	24	19.4	10	5	63
8-60F		56.5	30	31	12	6	150

注：各機器に組み付けた場合は AM 寸法が加算されます。

D モジュール寸法図 (mm)

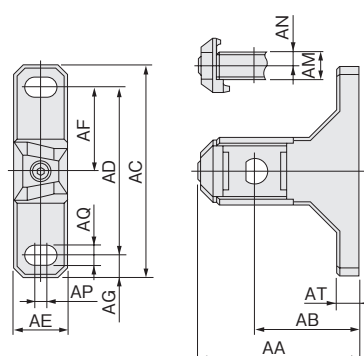
8-15D 8-30D



形式	記号	AA	AB	AC	AE	AF	AG	AM	AN	AP	AQ	AT	質量 g
8-15D		50.5	32	49	17.4	31	8	8	4	4	7	6	84
8-30D		61.5	40	50.5	19.4	31	8	10	5	4	7	8	137

注：各機器に組み付けた場合は AM 寸法が加算されます。

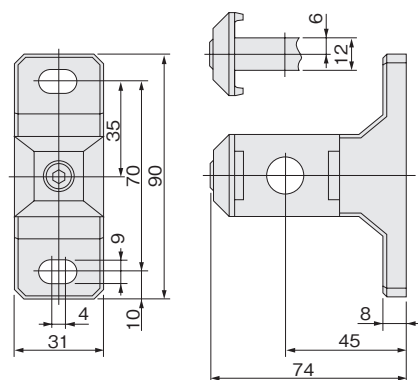
8-20D 8-40D



形式	記号	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AM	AN	AP	AQ	AT	質量 g
8-20D		61.5	40	78	62	19.4	31	8	10	5	4	7	8	141
8-40D		74	45	90	70	31	35	10	16.8	6	4	9	8	300

注：各機器に組み付けた場合は AM 寸法が加算されます。

8-60D

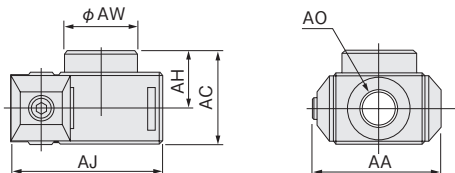
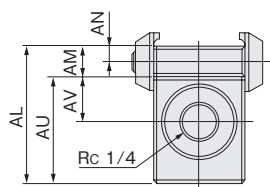


質量：260g

注：各機器に組み付けた場合は 12mm が加算されます。

T モジュール寸法図 (mm)

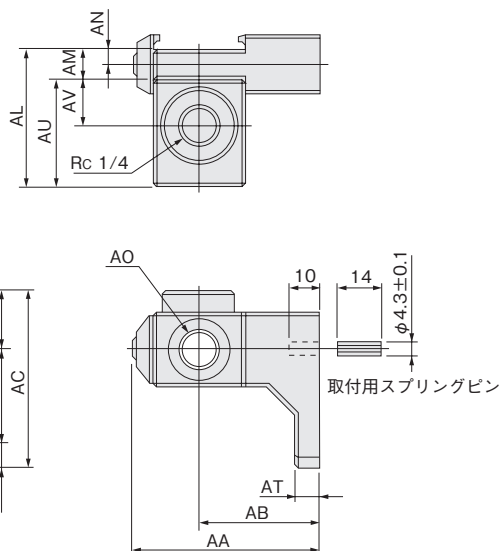
8-15T ☐
8-30T ☐
8-60T ☐



形式	記号	AA	AC	AH	AJ	AL	AM	AN	AO	AU	AV	AW	質量 g
8-15T1		36	27	17	43.5	39	8	4	Rc1/8	31	13	20	116
8-15T2		36	27	17	43.5	39	8	4	Rc1/4	31	13	20	110
8-30T2		42	31	19	49.5	45	10	5	Rc1/4	35	15	24	196
8-30T3		42	31	19	49.5	45	10	5	Rc3/8	35	15	24	181
8-60T3		56.5	40	24	66.5	57	12	6	Rc3/8	45	19	32	271
8-60T4		56.5	40	24	66.5	57	12	6	Rc1/2	45	19	32	264

注：各機器に組み付けた場合は AL 寸法が加算されます。

8-15DT ☐
8-30DT ☐



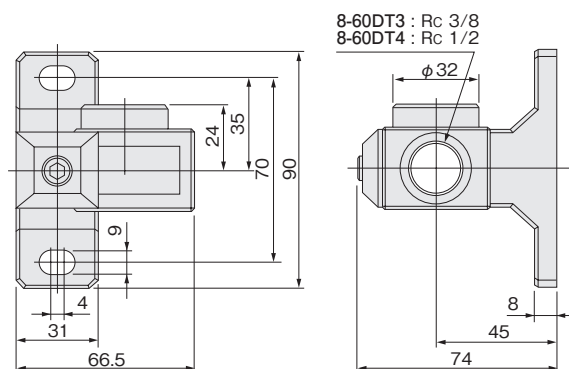
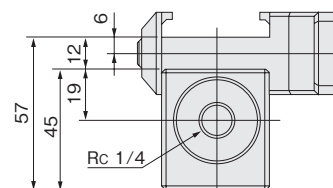
形式	記号	AA	AB	AC	AE	AF	AG	AH	AJ	AL
8-15DT1		50.5	32	56	17.4	31	8	17	44	39
8-15DT2		50.5	32	56	17.4	31	8	17	44	39
8-30DT2		61.5	40	58	19.4	31	8	19	50	45
8-30DT3		61.5	40	58	19.4	31	8	19	50	45

形式	記号	AM	AN	AO	AP	AQ	AT	AU	AV	AW
8-15DT1		8	4	Rc1/8	4	7	6	31	13	20
8-15DT2		8	4	Rc1/4	4	7	6	31	13	20
8-30DT2		10	5	Rc1/4	4	7	8	35	15	24
8-30DT3		10	5	Rc3/8	4	7	8	35	15	24

形式	記号	質量 g
8-15DT1		161
8-15DT2		155
8-30DT2		273
8-30DT3		257

注：各機器に組み付けた場合は AL 寸法が加算されます。

8-60DT ☐

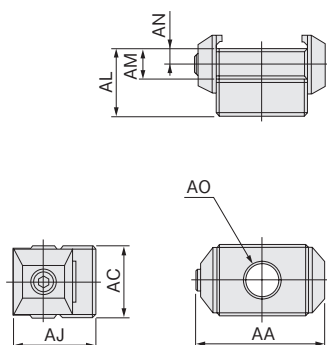


質量：8-60DT3：385g
：8-60DT4：375g

注：各機器に組み付けた場合は 57mm が加算されます。

S アダプタ寸法図 (mm)

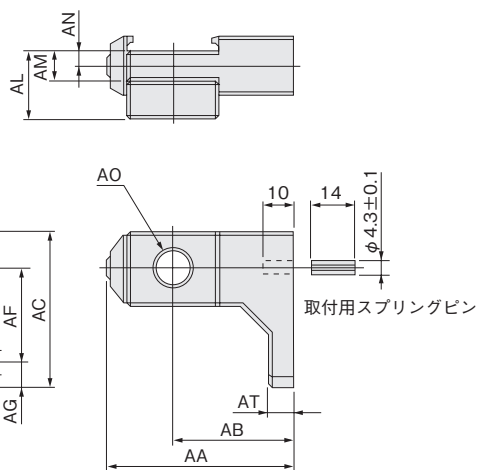
8-15S ☐
8-30S ☐
8-60S ☐



形式	記号	AA	AC	AJ	AL	AM	AN	AO	質量 g
8-15S1		36	20	24.5	20	8	4	Rc1/8	51
8-15S2		36	20	24.5	20	8	4	Rc1/4	49
8-30S2		42	24	26.5	22	10	5	Rc1/4	81
8-30S3		42	24	26.5	22	10	5	Rc3/8	78
8-60S2		56.5	32	37.5	28	12	6	Rc1/4	190
8-60S3		56.5	32	37.5	28	12	6	Rc3/8	187
8-60S4		56.5	32	37.5	28	12	6	Rc1/2	183

注：各機器に組み付けた場合は AL 寸法が加算されます。

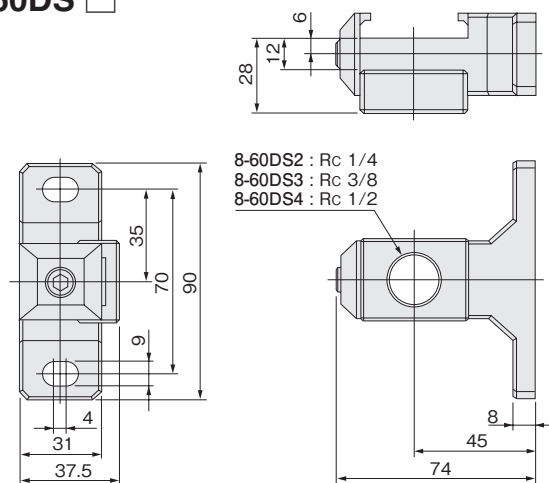
8-15DS ☐
8-30DS ☐



形式	記号	AA	AB	AC	AE	AF	AG	AJ	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AT	質量 g
8-15DS1		50.5	32	49	18	31	8	25	20	8	4	Rc1/8	4	7	6	96
8-15DS2		50.5	32	49	18	31	8	25	20	8	4	Rc1/4	4	7	6	94
8-30DS2		61.5	40	51	20	31	8	27	22	10	5	Rc1/4	4	7	8	155
8-30DS3		61.5	40	51	20	31	8	27	22	10	5	Rc3/8	4	7	8	150

注：各機器に組み付けた場合は AL 寸法が加算されます。

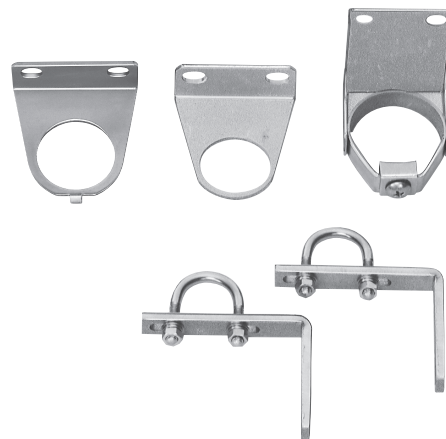
8-60DS ☐



質量：8-60DS2：302g
：8-60DS3：299g
：8-60DS4：295g

注：各機器に組み付けた場合は 28mm が加算されます。

ブラケット



ブラケット形式と適応機器

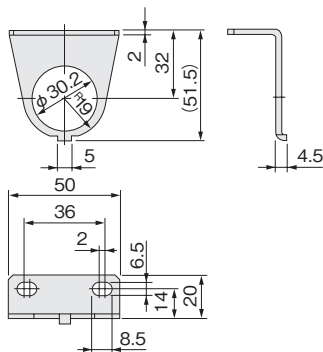
機器形式		ブラケット形式	備 考
F. R. L. コンビネーション	C150	8-15D	ブラケット兼用 D モジュール・標準装備
	C200	8-20D	
	C300	8-30D	
	C400	8-40D	
	C600	8-60D	
フィルタレギュレータ	FR150	8-15 (8-15A)	標準装備
	FR300	8-30 (8-30A・8-60B 注2)	
	FR600	8-65 (8-60B 注2)	
エアフィルタ	F150	8-15A	本体支持形・オプション
	F300	8-30A (8-60B 注2)	配管支持形・オプション
	F600	8-60B	
ミストフィルタ	MF300	8-30A (8-60B 注2)	本体支持形・オプション
	MF400	8-60B 注2	配管支持形・オプション
	MF600		
マイクロミストフィルタ	MMF150	8-30A (8-60B 注2)	本体支持形・オプション
	MMF300	8-60B 注2	配管支持形・オプション
	MMF400		
レギュレータ	R150	8-15	標準装備
	R300	8-30 (8-60B 注2)	
	R600	8-65 (8-60B 注2)	
精密レギュレータ	PR200	8-21Z	本体支持形・オプション
ハイリリーフレギュレータ	HR200	8-22Z	本体支持形・オプション
	HR600		
	HRA200		
	HRA600		
マニホールドレギュレータ	MR300	8-30D	ブラケット兼用 D モジュール・オプション
ルブリケータ	L150	8-15A	本体支持形・オプション
	L300	8-30A (8-60B 注2)	
	L600	8-60B 注2	配管支持形・オプション
残圧排気弁	300V	8-31C	本体支持形・オプション
	600V		

注 1：() は標準外ですが、使用可能です。

2：配管支持形ブラケット (**8-60B**) は、1 セット (2 個入り) の販売となります。

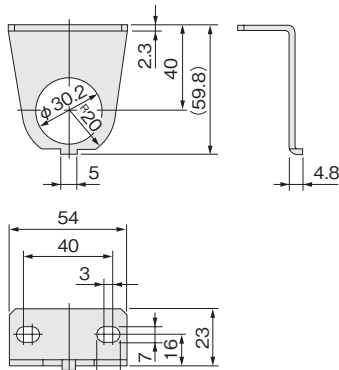
フィルタレギュレータ、レギュレータ用

8-15



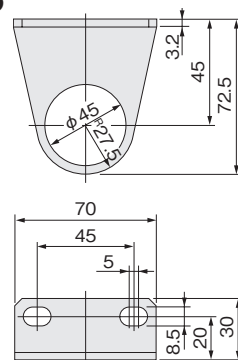
質量 : 31g

8-30



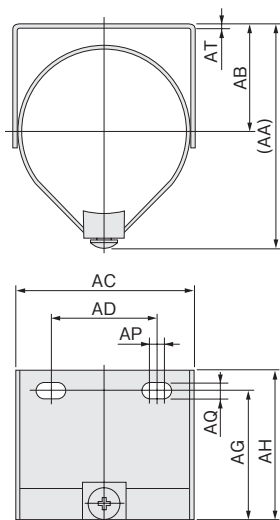
質量 : 48g

8-65

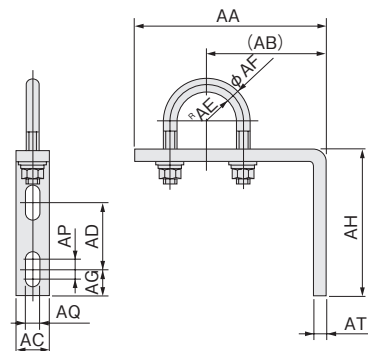


質量 : 96g

エアフィルタ、ミストフィルタ、マイクロミストフィルタ、ルブリケータ用



質量 : 8-15A : 60g
: 8-30A : 80g



質量 : 107g

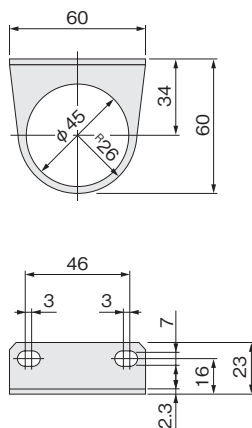
形式	記号	AA	AB	AC	AD	AG	AH	AP	AQ	AT
8-15A		64	32	46	32	50	56	2	6.4	1.2
8-30A		84	40	66.8	40	48	56	5	6.4	1.2

形式	記号	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AP	AQ	AT
8-60B		72	45	12	25	11	5	10	55	7	5.5	4.5

注 : 配管支持形ブラケット(8-60B)は、1セット(2個入り)の販売となります。

精密レギュレータ用

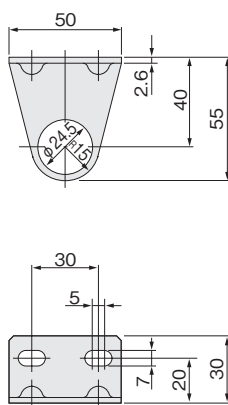
8-21Z



質量 : 42

ハイリリーフレギュレータ用

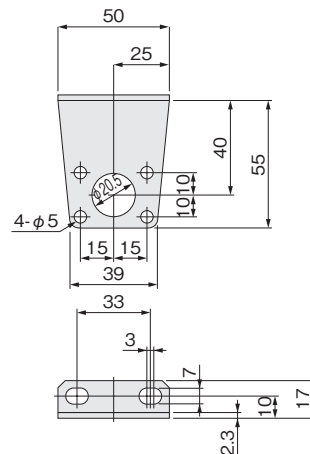
8-22Z



質量 : 52g

残圧排気弁用

8-31C

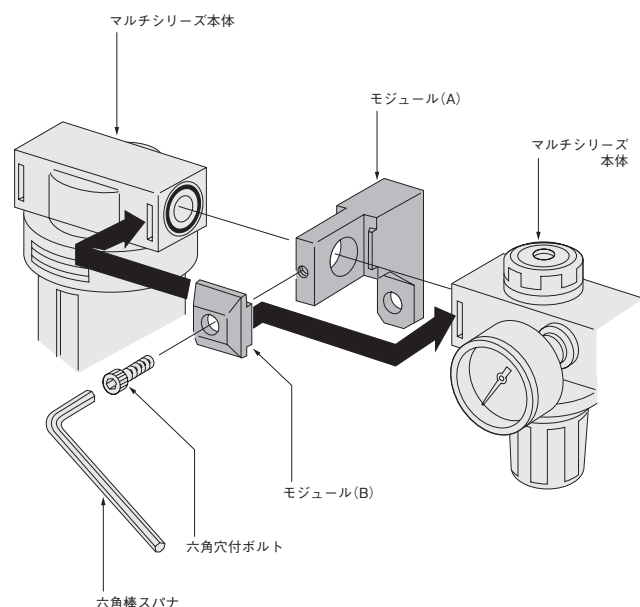


質量 : 50g



モジュール

組付

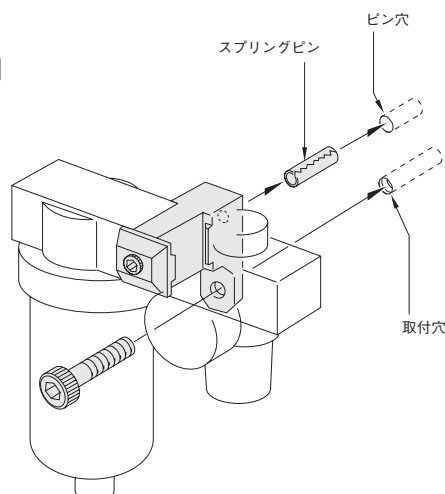


1. マルチシリーズの各機器は、本体上面の▶マークのある側がINポート（1次側）となります。
2. マルチシリーズ本体の溝にモジュール(A)、(B)の凸部を合わせて六角穴付ボルトで締め、固定します。



1. マルチシリーズの、各形式による適応モジュールの形式は40ページをご覧ください。
2. マルチシリーズはモジュールした状態でたわまないように取り付けてください。銅管配管を用いた場合など接続する配管が重い時にはたわむ恐れがあるので、必ず両端にモジュールブラケットを接続して取り付けてください。
3. 8-15Dまたは8-30Dを1つ使用したモジュールを機械装置に取り付けるときは、取付穴が1か所となり不安定です。回り止めとして、付属のスプリングピンを使用してください。このときのピン穴は、φ4.6深さ6です。
4. Tモジュールは配管取出口が上向きとなるように組み付けてください。

[取付例]



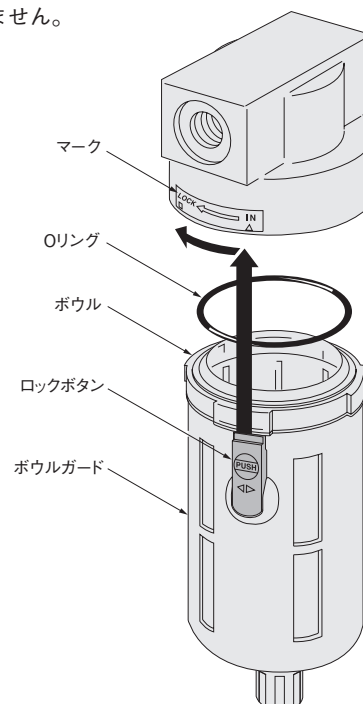
フィルタレギュレータ・フィルタ・ルブリケータ

取付・配管

配管接続部を上、ドレン排出口を下にして、垂直に取り付けてください。

ボウル

ボウルはポリカーボネート製ですので、無理な力や衝撃が掛からないようにしてください。また、有機溶剤等の雰囲気中では使用できません。



●ボウルの取外し

赤色のロックボタンのPUSHを押しながら、ボウル・ボウルガードを右（マークの矢印と反対方向）に回転し、INに合わせると、ボウル・ボウルガードは本体から取り外せます。

●ボウルの取付け

1. ボウル・ボウルガード、それぞれの上縁の凸部を合わせて、ボウルをボウルガードにセットします。
2. ロックボタンをINに合わせて本体に挿入し、本体に押し付けるようにしながら、左（マークの矢印方向）にLOCKの位置まで回転すると、固定されます。



1. ボウルの着脱は、必ず空気を抜いた状態で行なってください。
2. Oリングを本体にセットしてから、ボウル・ボウルガードを取り付けてください。
3. 150シリーズのボウルはねじ込み式です。着脱は手でボウルまたはボウルガードを回転させて行なってください。
4. ボウルを洗浄する場合は、中性洗剤を使用してください。

フィルタ

1. エアフィルタのドレン抜きは定期的に行なってください。
2. エアフィルタのエレメントを清掃する場合は、エレメントを取り出し、圧縮空気などを吹き付けてください。

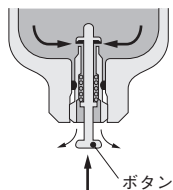
ドレンコック

●プッシュ式

150シリーズ

(エアフィルタ標準装備
ルブリケータ注文記号:-D)

ボタンを押している間、ドレン口が開き、ドレンが排出されます。

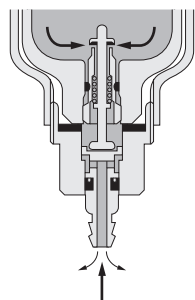


●プッシュ式継手付

150シリーズ

(エアフィルタ 注文記号:-BG-F1)
(ルブリケータ 注文記号:-BG-F2)

継手を上に押し上げている間、ドレン口が開き、ドレンが排出されます。

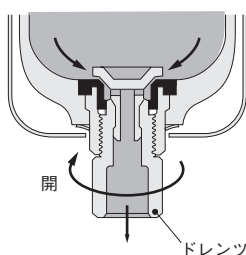


●スクリュー式

300~600シリーズ

(エアフィルタ標準装備
ルブリケータ注文記号:-D)

ドレンツマミを左に回すとドレン口が開き、ドレンが排出されます。

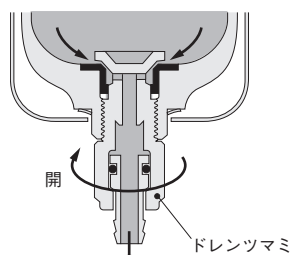


●スクリュー式継手付

300~600シリーズ

(エアフィルタ 注文記号:-F1)
(ルブリケータ 注文記号:-F2)

ドレンツマミを左に回すとドレン口が開き、ドレンが排出されます。



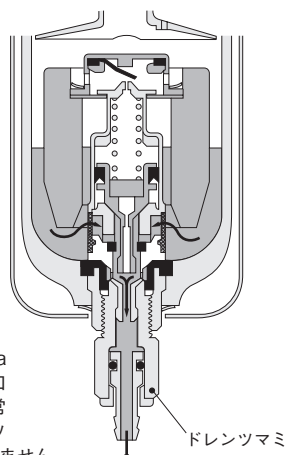
注 ドレンツマミは指先で操作するようにしてください。
また、ねじの終端で強く締めるとドレンツマミが固着する場合があります。強く締めないでください。

●オートドレン式

300~600シリーズ

(エアフィルタ 注文記号:-A)

一定量のドレンが溜まったり、ボウル内の圧力が0.02MPa以下になると自動排出されます。また、ドレンツマミを左に回せば、手動でも排出できます。



- 注**
- オートドレンは、供給圧力が0.15MPaに上昇するまでは、ドレン排出口より、エアが排気されますが異常ではありません。この時ドレンツマミを回転させてもエアは止まりません。
(供給圧力が0.15MPaまで立ち上がるのに時間が掛かるような場合は、ご相談ください。)
 - ドレンツマミは指先で操作するようにしてください。
 - 継手部にチューブを配管するときは、内径6mmのナイロンチューブを使用してください。また、チューブは継手の直後で曲げないようにしてください。
 - 継手部は自由に旋回しますから、手動でドレンを排出するときでも、チューブを外す必要はありません。

給油

- ルブリケータには、タービン油1種(ISO VG32)相当品を使用してください。スピンドル油、マシン油の使用は避けてください。
- 給油する場合は給油口の給油プラグを六角棒スパナで外し、ボウルの8分目まで給油してください。

注 L300,L600は圧縮空気が供給されている状態でも給油できますが、L150は圧縮空気が供給されている状態での給油はできません。

油量調節

ルブリケータのダイヤルを左に回すと油量が増します。本体の調節マークとダイヤルの数字を目安にして調節してください。



- 注**
- 右方向には連続して回転しますが、油量はそれぞれの数字で変わりません。
 - ダイヤルの数字は油量の目安であり、滴下数量ではありません。



フィルタレギュレータ・レギュレータ・
精密レギュレータ・マニホールドレギュレータ・
ハイリリーフレギュレータ

取付・配管

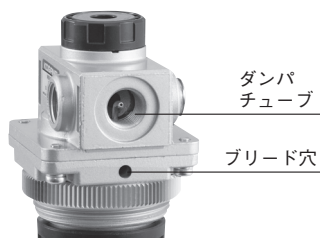
●レギュレータ全般

- レギュレータ(チェック機構内蔵のものを除く)は機構上INポート(1次)側の圧力がMPaになっても、OUTポート(2次)側の圧力をINポート側に排気しない場合があります。確実に排気する場合はチェック機構内蔵のものを使用するか、チェック弁を併設してください。
電磁弁の後にチェック機構内蔵レギュレータを取付け、シリンダの圧力調節に使用する場合、チェック機構内蔵レギュレータの2次側圧力が、シリンダ背圧により設定圧力以上に上昇しないようにしてください。チェック機構が正常に作動しないことがあります。(目安として、押側と引側の差圧が0.3MPa以下で使用してください。)
また、レギュレータ(ハイリリーフレギュレータを除く)のリリーフポートは配管口径に比べて小さいのでOUTポート(2次)側での急激な圧力上昇に対応できない場合があります。シリンダに外部より力加わり急激な圧力上昇が起こる場合にはハイリリーフレギュレータを使用するかリリーフ弁をOUTに設置してください。
- フィルタレギュレータおよび、レギュレータのリングナットを締め付ける時は下記の最大締付トルクを守って取り付けてください。それ以上の力で締め付けると破損する可能性があります。

形式	最大締付トルク	N・m
FR150,R150	4	
FR300,R300	4	
FR600,R600	30	
PR200	30	
HR(A)200,HR(A)600	4	

●精密レギュレータ

- 精密レギュレータを単体で取り付ける場合は、ブラケット(オプション)を使用してください。また、リングナットを使用してパネルマウントすることもできます。
- 精密レギュレータへの配管は、空気源側をINポートに、アクチュエータ側がOUTポートとなるように配管してください。この時、OUTポート側の継手はダンパチューブと干渉しないように、内径3mm以上のものを使用してください。



- 注意**
- INポート、OUTポートを逆に配管しての使用はできません。
 - OUTポートに継手を取り付けるときは、ダンパチューブを損傷しないように注意し、OUTポートにプラグや極端に内径の小さな継手を使用することは避けてください。ダンパチューブが曲がったり穴がふさがれたりすると、精密レギュレータの機能を損ない、正確な調圧ができなくなります。
 - ブリード穴をふさぐような取付けは避けてください。ブリード穴がふさがれると調圧ができなくなります。

●マニホールドレギュレータ

- INポートの配管は十分に大きなものを使用し、極力両端面のINポートから供給するようにしてください。また、5連以上で使用するときは、中間にTモジュールを取り付けて、なるべく、3か所以上のINポートから供給するようにしてください。
- 2次側圧力を安定させるために、INポートの圧力とOUTポートの圧力差は十分(0.3MPa以上)あるようにしてください。

●ハイリリーフレギュレータ

- ハイリリーフレギュレータのINポート(1次側)は、本体上面の▶マークのある側となります。
- ハイリリーフレギュレータは、エア調質機器マルチシリーズの各機器とモジュールして取り付けることができます。モジュールの方法および適応機器は、HR200・HRA200は150シリーズと、HR600・HRA600は600シリーズと同じです。
- 単体で取り付ける場合は、ブラケット(注文記号:-B)を使用してください。また、リングナットを使用してパネルマウントすることもできます。

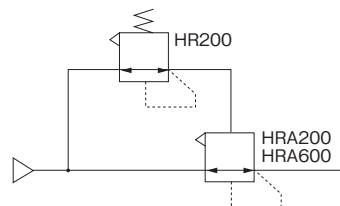
- 圧力計を取り付ける場合には、圧力計の本体部をつかんで締め付けしないでください。締め付けは必ず配管接続口の四角部にスパナを掛けて行なってください。
- EXHポートにマフラやエキゾーストフィルタを取り付ける場合は、下表を目安に選定してください。

形式	推奨マフラ、エキゾーストフィルタ
HR200 HRA200	KM-22,KM-23 EF300,EF600,EF800
HR600 HRA600	KM-31 EF300,EF600,EF800

- 取付方向は自由ですが、EXHポートを真上に向けた取付姿勢の場合、振動音が発生することがあります。その場合は、設定圧力を変動させるか、排気流量を多くする等の調節を行なってください。



- ハイリリーフレギュレータの1次側にバルブを設置し、1次側圧力を繰り返し切り替えるような使い方は避けてください。
- EXHポートにマフラなどを取り付ける際の締め付けトルクは、HR200・HRA200では294.2N・cm以下、HR600・HRA600では490.3N・cm以下にしてください。締め付けは必ず排気プラグの六角部にスパナを掛けて行なってください。またEXHポートへの鋼管配管は避けてください。
- 外部パイロットタイプでは、パイロットエアを供給したまま、1次側圧力を排気させるとダイヤフラムの損傷を起こすことがありますので、パイロット圧力を制御するレギュレータの1次側と外部パイロットタイプの1次側とが同時に排気する回路にしてください。



- 外部パイロットタイプに使用するパイロットレギュレータは、配管容積による干渉を避けるためにリリーフ流量の大きいレギュレータを選定してください。また、パイロットエアの配管長さは、下表の値を超えないようにしてください。

外径×内径 mm	配管長さ
4×2	2
6×4	20
8×6	50

調圧

- 注**
1. 設定は、1次側圧力および2次側の圧力計の表示を確認しながら行ってください。必要以上にハンドルを回し過ぎますと、内部部品の破損の原因になります。回し過ぎにご注意ください。
 2. レギュレータは使用条件等によりウナリ（振動）音が発生する事があります。対策などにつきましては最寄りの弊社営業所へご相談ください。

●フィルタレギュレータ・レギュレータ・マニホールドレギュレータ

調圧はハンドルを確実に引き出した状態で行ない、右回転（時計回り）させると増圧し、左回転（反時計回り）させると減圧します。調圧後は、ハンドルを本体側に押し込んでロックします。

- 注** ハンドルをロックした状態では回さないでください。

●精密レギュレータ・ハイリリーフレギュレータ

調圧はハンドルを確実に引き出した状態で行ない、右回転（時計回り）させると増圧し、左回転（反時計回り）させると減圧します。調圧後は、ハンドルを本体側に押し込んでロックします。



備考：調圧するときは、精密レギュレータの圧力計接続口（Rc1/4）にJIS1.5級程度の圧力計を接続して行なってください。

- 注**
1. 精密レギュレータのハンドルは、ロックするときにも正確な調圧状態を保つために、ロック状態と調圧状態の間にフリー（空転）状態があります。調圧→ロック状態の切替えは、ハンドルを確実に引き出し、または押し込み、パチンと音がしてロック状態と調圧状態が確実に切り替わったことを確認してください。
 2. 精密レギュレータはブリードタイプのため、2次側が調圧された状態では常時ブリード穴から少量のエアがブリードされますが、異常ではありません。
 3. 内部パイロットタイプでは、パイロットレギュレータ部にメタルシートを採用しているため、わずかにブリードしていますが、異常ではありません。



残圧排気弁

取付・配管

1. 残圧排気弁を単体で取り付ける場合は、Rポート側の取付ねじ穴を使用するか、ブラケット（オプション）を使用してください。また、鋼管配管の場合は配管で支持することも可能です。
2. 残圧排気弁のPポートを1次側（空気源）に、Aポートを機械装置側に配管してください。また、2ポート弁として使用するときは、RポートをRc1/4のプラグで閉止してください。



1. Pポート、Aポートを逆に配管しての使用はできません。
2. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するときは、カバーなどで保護してください。

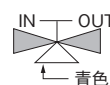
バルブの切換え

給気・排気の切換えは、ノブを90度回転させて行ないます。左回転（反時計回り）させると給気、右回転（時計回り）させると排気状態となり、どちらに切換える場合でもニュートラル状態（PポートのエアがA、Rに回り込む状態）がありませんので、ノブをゆっくり操作することにより、徐々に給・排気させることができます。バルブの切換え状態は、ノブの側面の表示窓で確認してください。

給気



排気



- ノブは確実に90度回転させ、必ずロックしたことを確認してください。



一般注意事項

1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング（圧縮空気の吹き流し）を十分に行なってください。配管作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが混入すると、空気漏れなどの作動不良の原因となります。
2. 使用流体は清浄空気（5μm以下のフィルタを使用の事）を使用し、それ以外の流体の場合は、最寄りの弊社営業所へご相談ください。
3. 流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは、使用できません。
有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・酸類・アルカリ類。（フィルタレギュレータ、フィルタ、ルブリケータのボウルおよびルブリケータのオイル滴下窓の材質はポリカーボネートです。前付133ページの「ポリカーボネート・ナイロンの耐薬品性について」もご覧ください。）
4. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するときは、カバーなどで保護してください。